



## 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月25日

上場取引所 東

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社

コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 利江

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部管掌

(氏名) 金子 正輝

TEL 03-6880-3851

四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	2,734	4.8	413	30.7	407	30.4	158	44.9
26年8月期第3四半期	2,609	112.6	316	77.4	312	77.4	109	125.4

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 201百万円 (162.7%) 26年8月期第3四半期 76百万円 (△33.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	15.81	15.69
26年8月期第3四半期	11.23	10.90

(注) 当社は、平成26年4月19日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期第3四半期	3,113	2,206	70.7	218.56
26年8月期	3,007	2,021	66.8	203.32

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 2,201百万円 26年8月期 2,010百万円

(注) 当社は、平成26年4月19日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

### 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	5.4	550	52.0	510	39.5	232	38.7	23.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年8月期3Q	11,097,600 株	26年8月期	11,097,600 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年8月期3Q	1,026,800 株	26年8月期	1,209,800 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期3Q	10,021,196 株	26年8月期3Q	9,736,626 株
----------	--------------	----------	-------------

(注)当社は、平成26年4月19日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年9月1日から平成27年5月31日）につきまして、当社グループは、今期の基本方針である「出前館の持続的成長」と「新たな事業の柱の構築」の実現に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

4月8日より、スマートフォンでテイクアウトの予約を受注する新サービス「お持ち帰り予約システム」の提供を開始いたしました。第一弾として、株式会社吉野家の各店舗においてサービスを導入いただいております。ユーザーは、受取り店舗を検索した上で、「つゆだく」や「ごはん少なめ」等のこだわりオプションを選択し、受取時間を指定すれば、簡単に注文が完了します。「うまい、やすい、はやい」をコンセプトに確立された同社のオペレーションを活かし、外食チェーンにおいては異例となる、「最短15分」で受取り可能なネット予約が実現しております。

5月11日には、アマゾンジャパン株式会社が提供を開始した「Amazonログイン&ペイメント」を日本で初めて導入いたしました。Amazonのお客様は、Amazonアカウントで出前館にログインし、Amazonのアカウントに登録済みの配送先住所やクレジットカード情報などをそのまま利用することが出来ますので、新たに情報を入力する手間が減り、初めて出前館を利用されるお客様でも簡単に会員登録から注文、支払いまでを行い、気軽に出前の食事を楽しんでいただくことが可能です。さらに、Amazonサイト上に「出前特集ページ」を設置し、Amazonのお客様に対して、WEBでの出前注文サービスを訴求し、出前館への流入を図っております。米国で「Amazonログイン&ペイメント」サービスを既に導入しているサイトでは、利便性の向上により、注文成約率が10%~34%改善したという結果が出ており、当社においても、新規利用者の獲得と注文成約率の改善につながり、相乗効果でオーダー数の増加に寄与していくものと考えております。

5月18日より、株式会社ベントー・ドット・ジェービーと提携し、同社が新たに開始したオンデマンドデリバリー代行サービス「kauku1」を出前館でトライアルスタートいたしました。これまで配達機能を持っていなかった店舗の新規加盟につながり、ユーザーに新たな店舗やメニューの選択肢を提供することが可能となっております。

通信販売事業においては、焼酎に次ぐ主力販売商品として、2月から甲類焼酎、4月からワインの販売を開始いたしました。商品ラインナップの拡充により、飲食店の規模、ジャンル、客層、客単価等の特徴に応じた提案が可能となり、これまで取引が出来ていなかった飲食店との新規取引の開始及び得意先の拡大につながるものと考えております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,734,847千円（前年同四半期比4.8%増）、経常利益は407,299千円（前年同四半期比30.4%増）、四半期純利益は158,438千円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	204,209	7.8	206,783	7.6	2,574	1.3
オーダー手数料	746,810	28.6	877,961	32.1	131,151	17.6
広告収入	49,694	1.9	47,135	1.7	△2,559	△5.1
システム受託開発	—	—	81,242	3.0	81,242	—
その他	180,726	7.0	232,436	8.5	51,710	28.6
小計	1,181,440	45.3	1,445,559	52.9	264,118	22.4
通信販売事業	1,427,607	54.7	1,289,288	47.1	△138,319	△9.7
合計	2,609,047	100.0	2,734,847	100.0	125,799	4.8

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末における会員数は約689万人を突破いたしました。また、加盟店舗数は12,011店舗、オーダー数に関しましては約770万件となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費206,783千円、オーダー手数料877,961千円、広告収入47,135千円、システム受託開発81,242千円、その他232,436千円、セグメント売上高は1,445,559千円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,289,288千円（前年同四半期比9.7%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で195,783千円増加し、1,854,751千円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が13,334円減少した一方、現金及び預金が124,644千円、未収入金が46,855千円増加したこと等によるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で89,327千円減少し、1,259,132千円となりました。減少の主な要因は、有形固定資産が27,382千円増加した一方、のれんが85,816千円、繰延税金資産が24,045千円減少したこと等によるものであります。

以上により総資産残高は、前連結会計年度末比で106,456千円増加し、3,113,884千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で3,803千円増加し、690,475千円となりました。増加の主な要因は、未払法人税等が32,078千円減少した一方、未払金が51,953千円、支払手形及び買掛金が22,544千円増加したこと等によるものであります。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で82,958千円減少し、216,626千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が82,202千円減少したこと等によるものであります。

純資産残高は、前連結会計年度末比で185,611千円増加し、2,206,781千円となりました。増加の主な要因は、剰余金の配当を49,439千円計上した一方、四半期純利益を158,438千円、自己株式の処分を38,247千円計上、その他有価証券評価差額金の増加43,423千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の連結業績予想につきましては、平成26年10月14日の「平成26年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,199,589	1,324,234
受取手形及び売掛金	233,201	219,866
商品及び製品	48,693	61,628
仕掛品	-	8,987
未収入金	140,238	187,093
繰延税金資産	17,717	17,717
その他	28,657	45,816
貸倒引当金	△9,129	△10,592
流動資産合計	1,658,968	1,854,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,282	49,024
減価償却累計額	△17,415	△19,379
建物及び構築物(純額)	30,866	29,644
土地	64	64
その他	140,181	152,684
減価償却累計額	△116,609	△100,508
その他(純額)	23,571	52,175
有形固定資産合計	54,502	81,885
無形固定資産		
ソフトウェア	329,933	327,135
ソフトウェア仮勘定	25,256	9,023
のれん	422,762	336,946
その他	138	138
無形固定資産合計	778,091	673,244
投資その他の資産		
投資有価証券	433,667	423,843
差入保証金	38,827	38,351
繰延税金資産	37,625	13,579
その他	6,795	29,304
貸倒引当金	△1,050	△1,075
投資その他の資産合計	515,865	504,002
固定資産合計	1,348,459	1,259,132
資産合計	3,007,427	3,113,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,437	158,981
1年内返済予定の長期借入金	106,987	102,502
未払金	210,670	262,624
未払法人税等	110,986	78,907
賞与引当金	18,646	7,387
その他	102,944	80,072
流動負債合計	686,671	690,475
固定負債		
長期借入金	279,694	197,492
その他	19,891	19,134
固定負債合計	299,585	216,626
負債合計	986,257	907,102
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	664,400	664,400
利益剰余金	791,719	860,650
自己株式	△517,736	△439,421
株主資本合計	2,051,684	2,198,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,423	-
為替換算調整勘定	2,140	2,191
その他の包括利益累計額合計	△41,282	2,191
新株予約権	10,582	5,658
少数株主持分	186	0
純資産合計	2,021,170	2,206,781
負債純資産合計	3,007,427	3,113,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,609,047	2,734,847
売上原価	1,009,613	1,037,772
売上総利益	1,599,433	1,697,074
販売費及び一般管理費	1,282,982	1,283,453
営業利益	316,451	413,620
営業外収益		
受取利息	147	121
受取配当金	400	488
受取手数料	445	1,044
為替差益	536	-
その他	2,640	3,208
営業外収益合計	4,170	4,862
営業外費用		
支払利息	4,078	3,163
支払手数料	627	-
持分法による投資損失	2,755	1,276
為替差損	-	5,850
その他	716	893
営業外費用合計	8,178	11,184
経常利益	312,443	407,299
特別利益		
持分変動利益	7,328	-
新株予約権戻入益	-	10,582
事業譲渡益	1,008	-
債務免除益	-	6,408
その他	152	-
特別利益合計	8,488	16,990
特別損失		
固定資産除却損	812	2,728
減損損失	1,009	-
投資有価証券評価損	72,108	76,016
データセンター移転費用	-	27,344
その他	4,042	-
特別損失合計	77,973	106,089
税金等調整前四半期純利益	242,958	318,200
法人税等	133,873	159,946
少数株主損益調整前四半期純利益	109,084	158,253
少数株主損失(△)	△229	△184
四半期純利益	109,314	158,438



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109,084	158,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,893	43,423
為替換算調整勘定	611	49
その他の包括利益合計	△32,282	43,473
四半期包括利益	76,802	201,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,050	201,913
少数株主に係る四半期包括利益	△247	△186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,181,440	1,427,607	2,609,047	—	2,609,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	22,789	22,789	△22,789	—
計	1,181,440	1,450,396	2,631,836	△22,789	2,609,047
セグメント利益	452,623	102,713	555,336	△238,885	316,451

(注) 1. セグメント利益の調整額△238,885千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,445,559	1,289,288	2,734,847	—	2,734,847
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	47,170	47,170	△47,170	—
計	1,445,559	1,336,458	2,782,017	△47,170	2,734,847
セグメント利益	551,512	91,022	642,535	△228,914	413,620

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,914千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。